

令和元年度版
消防年報

令和元年度版
消防年報



霧島市消防局

鹿児島県霧島市国分中央三丁目41-5
〒899-4332 TEL (0995) 64 - 0119
FAX (0995) 64 - 0845

霧島市消防局



全国統一防火標語一覧

昭和44年度 今捨てたタバコの温度が700度
昭和45年度 防火三百六十五日
昭和46年度 いま、燃えようとしている火がある
昭和47年度 慣れた火に新たな注意
昭和48年度 隣にも声かけあってよい防火
昭和49年度 生活の一部にしよう火の点検
昭和50年度 幸せを明日につなぐ火の始末
昭和51年度 火災は人災防ぐはあなた
昭和52年度 使う火を消すまで離すな目と心
昭和53年度 それぞれの持場で生かせ火の用心
昭和54年度 これくらいと思う油断を火が狙う
昭和55年度 あなたです！火事を出すのも防ぐのも
昭和56年度 毎日が防火デーですぼくの家
昭和57年度 火の用心 心で用心 目で用心
昭和58年度 点検は防火のはじまりしめくり
昭和59年度 “あとで”より“いま”が大切火の始末
昭和60年度 怖いのは「消したつもり」と「消えたはず」
昭和61年度 防火の大役あなたが主役
昭和62年度 消えたかな！気になるあの火もう一度
昭和63年度 その火 その時 すぐ始末
平成元年度 おとなりにあげる安心火の始末
平成2年度 まず消そう 火への鈍感 無関心
平成3年度 毎日が 火の元警報 発令中
平成4年度 点検を重ねて築く“火災ゼロ”
平成5年度 防火の輪 つなげて広げて なくす火事
平成6年度 安心の 暮らしの中心 火の用心
平成7年度 災害に 備えて日頃の 火の用心
平成8年度 便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ
平成9年度 つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火
平成10年度 気をつけて はじめはすべて ちいさな火
平成11年度 あぶないよ ひとりぼっちにした その火
平成12年度 火をつけた あなたの責任 最後まで
平成13年度 たしかめて 火を消してから 次のこと
平成14年度 消す心 置いてください 火のそばに
平成15年度 その油断 火から炎へ 災いへ
平成16年度 火は消した？ いつも心に きいてみて
平成17年度 あなたです 火のあるくらしの 見はり役
平成18年度 消さないで あなたの心の 注意の火
平成19年度 火は見てる あなたが離れる その時を
平成20年度 火のしまつ 君がしなくて 誰がする
平成21年度 消えるまで ゆっくり火の元 ならめっ子
平成22年度 「消したかな」 あなたを守る 合言葉
平成23年度 消したはず 決めつけないで もう一度
平成24年度 消すまでは 出ない行かない 離れない
平成25年度 消すまでは 心の警報 ONのまま
平成26年度 もういいかい 火を消すまでは まあだだよ
平成27年度 無防備な 心に火災が かくれんぼ
平成28年度 消しましょう その火その時 その場所で
平成29年度 火の用心 ことばを形に 習慣に
平成30年度 忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認
平成31年度 ひとつずつ いいね！で確認 火の用心

令和2年度 その火事を防ぐあなたに金メダル

表紙の説明【霧島神宮古宮址】

現在は、霧島神宮の飛び地境内になっています。

霧島神宮は遠い神代の古より縁りある霊峰高千穂峰に鎮座すると伝えられており、延喜式にも日向国諸県郡霧島神社と記されています。旧記によると、本宮はもと高千穂峰と御鉢「噴火口」との中間、背門丘に奉斎されていましたが、御山の噴火のために焼失し、村上天皇の天暦年間（947～957年）天台宗の僧侶である性空上人が高千穂河原（霧島神宮古宮址）に再興奉遷しました。

また、文暦元年（1234年）の大噴火により社殿、僧坊寺が災禍に遭い霧島神社は霧島市霧島田口の松世神社のあった地に仮宮として250年間奉斎されます。文明16年（1484年）真言宗の僧、兼慶上人が島津第11代藩主・島津忠昌公の命を受け、再興したのが現在の霧島神宮です。

古宮跡には社殿の空地が残るのみでしたが、昭和15年（1940年）の皇紀2600年記念事業のひとつとして当地に聖跡地として整備されました。

毎年、11月10日には「天孫降臨祈念祭・天孫降臨御神火祭」が斎行されています。天孫降臨の道標として火を焚いて瓊瓊杵尊を迎えた故事にちなむもので、古宮址の神籬斎場と共に高千穂峰頂上で鑽り火により採火した御神火を松明に移し、崇敬者が願いを託した祈願札や絵馬を焼納され、国家泰安と国民の平安が祈念されています。